

今月の一言

キーワード：どれほど喜ばれているか

松下幸之助の商売心得帖の目次に「どれほど喜ばれているか」下記の内容です。

日々の商売を進めていく上で大事なことはいろいろありますが、その一つとして次のようなことがあげられると思います。それは、いま営んでいる自分の店は果たしてどれくらいお得意先のお役に立っているのか、どれほど喜ばれ感謝されているかということ、いろいろの角度からたえず検討し、自問自答してみるとということです。

たとえば、もしかりに自分が店をたたんでしまった場合、お得意先が「惜しい店がやめたな」と残念がって下さるかどうかが、それだけの商売を自分がいましているかどうかといったことを反省し、検討してみてもはどうでしょうか。そのような検討を絶えずくり返し商売を営んでいくなれば、そこから、「自分のやり方はまだまだ配慮が足りなかった。お得意先に対してはこういうこともしておかなければならなかった」ということが随所で次々と出てくるのではないのでしょうか。

お互いそれぞれに、お得意先の心に徹して、自己反省、検討をたえず加えていくなればそこから自分の店が存在する意義というものについての確信が生まれてくると思います。そうなれば、商売にもおのずと力強いものが湧き出してくるし、尽きざる創意工夫も生まれてきて、求めずしてお店の繁栄が達せられるということにもなるのではないのでしょうか。

もちろんこうしたことは、商売を営む上においては当然のことではありますが、しかし、それが当然のことであるだけに、一面、ともすれば忘れがちになるという気もいたします。その意味で、お互い改めて三省、三省してみたいと思うのです。松下幸之助

お陰さまで創立56年目

元気に迎えられ、心から感謝します。

2008年2月25日

さいのう とおる

追伸：まだまだ寒い日が続きますが、風邪・安全には十分配慮して下さい。